



こんな本も読んでみましょう

選者：さいたま市立針ヶ谷小学校 教諭 鶴田 裕子

日本の  
昔話

「くらげほねなし」(くらげのほねなし)

むかし、くらげにはほねがあったってほんとう？

むかしむかし、りゅうぐうのおひめさまがびょうきになってしまいました。

そのびょうきには、さるの「いきぎも」がきくというので、りゅうぐうのおうさまは、さるをだましてりゅうぐうにつれてこさせます。さるは、おうさまに大かんげいされますが、おしゃべりなくらげのはなしをきいてしまい…。さて、さるは「いきぎも」をとられてしまうのでしょうか？

日本の  
昔話

「りゅうぐうのおよめさん」(りゅうぐうにようぼう)

「うらしまたろう」とおなじ、りゅうぐうのおはなしかな？

むかし、あるところに心やさしいわかものがいました。海べをとおりかかったときに、りゅうじんさまにお花をさしあげました。すると、海からかめがむかえにきて、りゅうぐうにいきます。そのときかめから「おみやげにりゅうじんさまのむすめをおよめさんにほしいといいなさい。」とおしえられます。りゅうじんさまのむすめとけっこんしたわかものは…。

日本の  
昔話

「まのいいりょうし」

「うらしまたろう」は海のりょうしですが、山のりょうしのおはなしです

むかしあるところに、りょうしとむすこがいました。あるあさ、りょうしがむすこの七つのおいわいに、山のものをつとりにでかけようとして、てっぽうを石うすにおとしたひょうしに、つつがへのじにまがってしまいって、さあたいへん！まがってしまったてっぽうで、なにがとれるのでしょうか？そして、むすこのおいわいはできたのでしょうか…？

日本の  
昔話

「きんたろう」

♪まさかりかついだ きんたろう、クマにまたがり～

むかし、あしがら山の山おくに、きんたろうというげんきな男(おとこ)の子がいました。森(もり)へいっては、おもいまさかりをふりまわし大きな木をきったり、どうぶつたちとすもうをとったりしてあそんでいました。ある日、みなもとのらいこうという日本一つよいさむらいにであい、みやこにいつてぶしになるときめたきんたろうですが…。